

 <p>青軸 (あおじく) 色: 青白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 枝や萼(がく)が緑色で花の色にも青み加わる 香りが高い、花が美しい白梅</p>	 <p>旭鶴 (あさひつる) 色: 青白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) カップように丸く開き中に芯が巻いている花型 花びらの裏側-紅色 表側-淡色</p>	 <p>大盃 (おおさかずき) 色: 本紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (一重) 満開時花びらが内側にそり、それが盃を思わせたのではないかと云われる</p>	 <p>大湊 (おおみなと) 色: 本紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (一重) 花の色: 濃い紅色から次第に白くなる 萼(がく)は紅茶色</p>	 <p>翁 (おきな) 色: 淡紅・白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 軸に黄色の筋が入り葉に斑点が入る</p>	 <p>おもいのまま 色: 紅白咲分け 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (八重) 淡紅・紅・白色と一つの枝に “おもいのまま”に咲き分ける</p>	 <p>鹿兒島紅 (かごしまこう) 色: 濃紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (八重) 花びらは波がなく平たく見えるが三重で鮮やかに咲く。 「おしべ」の芯も赤い</p>	 <p>通い小町 (かよいこまち) 色: ピンク色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 花びら、先端は波打ち 雄しべは黄色味をおびて長い</p>	 <p>皇后梅 (きさいのうめ) 色: 桃紅ほかし白 見頃: 遅咲き 大きさ: 中輪 (八重) 大正天皇皇后が、葉山御用邸より持参され、太宰府天満宮にお手植えされた</p>	 <p>雲井 (くもい) 色: 乳白・極薄桃 見頃: 遅咲き 大きさ: 大輪 (八重) 桃に白が浮いたような花とつぼみの開きかけが薔薇の花を思わせる女性好みの梅</p>
 <p>呉服枝垂 (くれはしだれ) 色: 明るい紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (八重) 紫がかった桃色の咲き始めから、淡色に咲き進んで変化も楽しめる</p>	 <p>月宮殿 (げつきゅうてん) 色: 乳白色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (八重) カップように丸く開き中に芯が巻いている花型 満月のように丸く黄身帯びている</p>	 <p>江南所無 (こうなんしょむ) 色: 紅色 見頃: 遅咲き 大きさ: 大輪 (八重) 咲き始めは濃い紅色だが花が開くに従って優しいピンク色に変わってゆく</p>	 <p>小梅 (こうめ) 色: 白色 見頃: 中咲き 大きさ: 小輪 (一重) この梅は梅の先祖・原種に最も近い品種といわれている</p>	 <p>重五郎梅 (じゅうごろうめ) 色: 白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) もともと岡本一帯の農家に植えられ、大粒な実は岡本の特産品になっていた</p>	 <p>城州白 (じょうしゅうはく) 色: 白色 見頃: 遅咲き 大きさ: 中輪 (一重) 比較的遅咲きの品種で、梅干し・梅菓子・梅酒などに用いられる</p>	 <p>白滝枝垂 (しらたきしだれ) 色: 白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (八重) 満開時には滝のように見えるところからこの名がつけられた</p>	 <p>白加賀 (しろかが) 色: 白色 見頃: 遅咲き 大きさ: 大輪 (一重) 特徴は花粉がない 実を付けるために他にもう一種花粉の多い受粉樹が必要</p>	 <p>筋入り道知辺 (すじいりみちしるべ) 色: 紅色 見頃: 早咲き 大きさ: 大輪 (一重) 花びらが内側に抱え込むように咲き、丸く開くが中に芯を巻いている 枝に縦筋が入る</p>	 <p>宝合わせ (たからあわせ) 色: 白・紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 一本の木から紅・白色両方の花色が咲く「宝合わせ」という現象がある</p>
 <p>玉垣 (たまがき) 色: 白・淡紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (八重) 開花すると、花弁の裏が極薄淡紅色に変化するため、花弁の表と裏の色合いが美しい</p>	 <p>玉牡丹 (たまぼたん) 色: 移り白見頃: 中咲き 大きさ: 中大輪 (八重) ふんわりとした花形 花ウメの代表「三牡丹」(玉牡丹・紅牡丹・藤牡丹)のひとつ</p>	 <p>東京茶青 (とうきょうちゃせい) 色: 白色見頃: 遅咲き 大きさ: 大輪 (八重) 花形はきわめて端正で品格が高い 「芳流閣」という名は、「南総里見八犬伝」に登場する架空の建築物</p>	 <p>冬至梅 (とうじうめ) 色: 白色見頃: 早咲き 大きさ: 中輪 (一重) 早咲きの代表品種で、名のとおり冬至の頃から咲く梅で、花付きも良く花形も人気がある</p>	 <p>鳩出の鷹 (とやでのたか) 色: 淡紅色見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 「鳩(とや)」は、「鳥の巢」や「鳥籠」を意味するしべは長い</p>	 <p>虎の尾 (とらのお) 色: 白色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (八重) 香りが強く、果実は大きい 「幹の柄が虎の皮の柄にそっくりなため」との一説がある</p>	 <p>南高梅 (なんこうめ) 色: 白色 見頃: 遅咲き 大きさ: 中輪 (一重) この梅は和歌山県の県花で梅干用として全国制覇をしている有名な品種</p>	 <p>梅郷 (ばいごう) 色: 白色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (一重) 花びらに波がなく整っている花は香りがよい</p>	 <p>初雁 (はつかり) 色: 白色 見頃: 早咲き 大きさ: 極小輪 (一重) 初雁が来るころに咲き始めるということにちなんで命名</p>	 <p>緋の司 (ひのつかさ) 色: 本紅色 見頃: 早咲き 大きさ: 中輪 (八重) 緋色の梅の代表という意味の名前で、このような紅色を梅では本紅という</p>
 <p>藤牡丹枝垂 (ふじぼたんしだれ) 色: 紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 中大輪 (八重) 花梅として日本で品種改良された紅梅枝垂れの代表品種</p>	 <p>紅千鳥 (べにちどり) 色: 紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 雄しべが、花びらに変化する途中の上に立ち上がった花びらを千鳥に見立てたもの</p>	 <p>芳流閣 (ほうりゅうかく) 色: 乳白色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (一重) 「芳流閣」という名は、「南総里見八犬伝」に登場する架空の建築物</p>	 <p>摩耶紅梅 (まやこうばい) 色: 淡紅色 見頃: 遅咲き 大きさ: 中輪 (八重) 満開をすぎると優しいピンク色へと色が変化する この花が散ったら染井吉野が咲くといわれるくらい遅咲き</p>	 <p>未開紅 (みかいこう) 色: 淡紅色 見頃: 早咲き 大きさ: 中輪 (八重) 開花時に1,2の花びらが咲き遅れる傾向がある</p>	 <p>道知辺 (みちしるべ) 色: 紅色 見頃: 早咲き 大きさ: 大輪 (一重) 花びらが開花時の淡い紅色から後に濃い紅色へと移る 花形は5ひらが正しく揃っているのが特長</p>	 <p>八重寒梅 (やえかんばい) 色: 濃紅色 見頃: 早咲き 大きさ: 中輪 (八重) 開花後花びらの先が白く色あせてくる、早咲きのため正月の盆栽に向く</p>	 <p>柳川紋り (やながわしほり) 色: 紅白咲分け 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (八重) 紋りと紅・白の咲き分けができる。花びらの枚数は他の紋り品種より少なめ</p>	 <p>楊貴妃 (ようきひ) 色: ピンク色 見頃: 遅咲き 大きさ: 大輪 (八重) 枝振り、しっとりしたピンクの花びらとともに艶やかな気品がある</p>	 <p>流芳 (りゅうほう) 色: 白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 葉の展開に先立って花を咲かせる 雄しべが太くて長く、花はよい香り</p>
 <p>緑萼 (りょくがく) 色: 青白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中輪 (一重) 花びら波打ち、つぼみは緑白色・枝や萼(がく)は常に緑色</p>	 <p>鶯宿梅 (おうしゅくばい) 色: ピンク色 見頃: 中咲き 大きさ: 大輪 (八重) 花粉は多く受粉樹にもなる 美しい花は鑑賞価値も高く、庭木としてもオススメ</p>	 <p>玉英 (ぎょくえい) 色: 青白色 見頃: 中咲き 大きさ: 中大輪 (一重) 花びらに波あり花粉が少ない ので、受粉樹が必要。青梅市で「白加賀」の実生より発見 ウメの最初の登録品種</p>	 <p>豊後 (ぶんご) 色: 淡紅色 見頃: 中咲き 大きさ: 中大輪 (一重) ウメとアンスの交雑種でアンスに近く多くの系統があり 花色も異なる 大分県の県花</p>	 <p>竜峡小梅 (りょうきょうこうめ) 色: 白色 見頃: 早咲き 大きさ: 小輪 (一重) 小梅生産量一位の小梅 自家結実性があり花粉が多く 受粉樹としてもよい</p>	 <p>淋子梅 (りんしばい) 色: 淡紅色 見頃: 遅咲き 大きさ: 中輪 (八重) 波打ち花びらが厚く重なる 萼(がく)は反った紅茶色 遅咲きで春を告げる花として人気がある</p>	<p>県民まちなみ緑化事業</p>  <p>◆品 種 : 中国からの渡来種のほか、日本でたくさんの品種育成や改善がおこなわれ現在300種類以上あるといわれています ◆分 類 : 「花梅」— 鑑賞を目的とする梅で「3系9性」の種類がある 「実梅」— 実の採取を目的とする梅 ◆花の形 : ・桔梗咲き ・抱え咲き ・カップ咲き ・受け咲き などある ◆花 径 : ・極大輪(4cm以上) ・大輪(4~3cm) ・中大輪(3~2.5cm) ・中輪(2.5~2cm) ・小輪(2~1.5cm) ・極小輪(1.5cm以下)</p>			

【梅の分類と特徴】

- ◆品 種 : 中国からの渡来種のほか、日本でたくさんの品種育成や改善がおこなわれ現在300種類以上あるといわれています
- ◆分 類 : 「花梅」— 鑑賞を目的とする梅で「3系9性」の種類がある
「実梅」— 実の採取を目的とする梅
- ◆花の形 : ・桔梗咲き ・抱え咲き ・カップ咲き ・受け咲き などある
- ◆花 径 : ・極大輪(4cm以上) ・大輪(4~3cm) ・中大輪(3~2.5cm) ・中輪(2.5~2cm) ・小輪(2~1.5cm) ・極小輪(1.5cm以下)

梅 図 鑑 岡本(梅林)公園
作成: 梅一つ火会 発行2025年1月

